

科目コード	記号	科目名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
2122	BS46	卒業研究: Graduation Research	5B	10・450分	必修	研究ゼミ・通年	学修単位	
教員名		経営情報学科各教員						
授業概要	経営・情報処理・経済・会計・数理などの分野から各教員が専門とする研究課題を提示する。この中から希望するテーマを1つ選択し研究を行う。また、学生自身が研究課題を提案し、その課題が学科で認められれば、その課題に取り組むことができる。研究課題を通して、問題の解決能力、問題の発見能力、研究手法、共同作業を体得する。また各研究グループでの発表会、学科全体の発表会を通じて、プレゼンテーション手法や研究のまとめ方などを学ぶ。							
到達目標			評価方法			評価配分		
(1) 自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取組ができること。			(1) 課題への取組によって評価する。			20%		
(2) 研究の目的を理解し、実験を計画して遂行し、結果を整理して解析できること。			(2) 実験データ・資料・レポート等によって評価する。			30%		
(3) 研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて、論文を作成できること。			(3) 卒業論文によって評価する。			40%		
(4) 研究成果の資料を作成して発表し、説明・説得することができること。			(4) 卒業研究発表及び発表予稿集によって評価する。			10%		
学習・教育目標 (A)③			JABEE基準1(1)		(d)-(1), (g)			
前 期			後 期					
授 業 計 画	項 目 内 容		項 目 内 容					
	1. 毎週水曜日・木曜日の午後は定例の卒業研究を行う。また、休講、空き時間や放課後等も積極的に上記概要の趣旨に沿って研究する。		研究室名	テーマ名				
	2. 卒業論文は所定の様式に従って作成し、決められた日時までに必ず提出する。		伊藤研究室	1. 企業経営における複雑系理論の応用 2. 企業経営におけるグラフ理論の応用 3. 経営組織理論の研究 4. 経営戦略論の研究				
	3. 卒業研究発表会には必ず発表する。		太田研究室	1. 地域別人口動態と産業構造の変化 2. 山口県域内の都市発展の比較について 3. 地理的最適化問題(施設配置問題について)				
	4. 指導教員とよく相談して研究を行う。		内田研究室	1. ビジネスゲームの開発 2. 教育支援システムの開発 3. オープンソース情報システムの研究				
	5. 学生間での議論を活発にする。		武藤研究室	1. エージェントを用いた地方都市におけるコンビニ最適配置の検討 2. HMMを用いた楽曲検索のための特徴値の推定 3. Webデータの要約による専門用語辞書の自動構築				
	6. 各研究室およびテーマは右欄の通りである。		松野研究室	1. 企業間関係における情報ネットワークの役割の分析 2. ISアウトソーシングに関する理論的・実証的研究				
			大崎研究室	1. 自然・社会現象に現れる微分方程式モデルの理論解析 2. 自然・社会現象に現れる微分方程式モデルの数値解法とシミュレーション				
			田川研究室	1. XBRLの導入による会計の変容 2. Beaver型の実証研究 3. 企業分析の総合評価における因子分析・判別分析の適用 4. 行政改革と公会計制度				
			木村研究室	1. 現代企業における経営理論研究 2. 産学連携活動に関する調査 3. 中小企業経営に関する研究				
		玉城研究室	1. CA法による群衆行動モデルの構築 2. Java3Dを用いた3時限空間の拡散遷移過程の視覚化 3. "Prob Car"を含む交通流解析 4. MASによる人工市場の構築					
		朴研究室	1. 家電メーカーのイノベーション戦略について考察 2. C. Christensenの「イノベーターのジレンマ」と「イノベーションへの解」					
		吉川研究室	1. 数理ファイナンスに現れるヒステリシス現象の解析 2. 数理ファイナンスへの非平衡と相転移の理論の応用 3. アルゴリズムと計算量 4. プレゼンテーション用ソフトの開発					
関連科目	経営・情報・数理関連科目全体、経営情報研究ゼミ							
教科書								
参考書	指導教員や自らが調査する。							
授業評価・理解度	卒業論文、卒業研究発表会、研究姿勢を総合的に評価する。学年末に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員								
備考	配属先の選択について、事前に説明を行う。							